

茶谷正洋(ちゃたに・まさひろ)氏(東京工業大学名誉教授)が 2008 年 11 月 19 日、喉頭がんにより逝去された。享年 74 歳。専門は建築意匠。

折り紙の手法を応用して一枚の紙から立体的な造形物を表現する「折り紙建築」を考案。その後、世界中に普及した。

著書に『折り紙建築』(彰国社), 『マジックハウス——とびだすペーパークラフト』(雄鶏社)など多数ある。

伊藤清(いとう・きよし)氏(京都大学名誉教授)が 2008 年 11 月 10 日、呼吸器不全により逝去された。享年 93 歳。専門は確率論。著書に、『確率論の基礎』, 『確率論』(いずれも岩波書店)などがある。

自然界にある偶然性を伴う現象を説明するため「確率微分方程式(伊藤の公式)」を考案。2006 年に第 1 回ガウス賞を受賞した。

草場公邦(くさば・としくに)氏(東海大学名誉教授)が 2008 年 10 月 31 日、急性呼吸窮迫症候群による敗血症により逝去された。享年 71 歳。専門は代数学。

著書に『行列特論』(裳華房), 『数学の考え方いろいろ』(遊星社)などがある。

永田雅宜(ながた・まさよし)氏(京都大学名誉教授)が 2008 年 8 月 27 日、胆管がんのため逝去された。享年 81 歳。専門は代数学・代数幾何学。

可換環論において「鎖状環でないネーター環」の構成や「ヒルベルトの第 14 問題」を否定的に解決した。

京都大学在職中は後進の育成にも心血を注ぎ、広中平祐氏、森重文氏、2 人のフィールズ・メダリストを輩出した。

小誌では 1980 年代より長きにわたり「エレガントな解答をもとむ」の問題をご出題いただいた。